

《公立公的病院等再編・統合阻止》

424 愛知共同行動 通信

2020年10月15日

NO. 76

発行：「424 愛知共同行動」事務局 愛知社保協地域医療委員会 (文責：長尾・☎052-871-7856)

《地域医療情報NO55》速報

10/9 「病床・宿泊療養施設確保計画」の更新がおこなわれました！

6/19「今後を見据えた新型コロナウイルス感染症の医療提供体制整備について」に基づいた各都道府県の「病床・宿泊療養施設確保計画」の最新版が公表されました。(フェーズ1・2・3・4・5の病床・宿泊療養施設確保の計画)

病床・宿泊療養施設確保計画

令和2年8月28日公表 (10月9日更新)

Table with columns for Prefecture Name, Model, Effectiveness, Request Timing, Estimated New Infections, Estimated Max Hospitalized Patients, Estimated Max Inpatients, Estimated Max Severe Patients, Phase 1 (Planned Hospital Beds, Severe Patients), Phase 2 (Transition Criteria, Planned Hospital Beds, Severe Patients, Accommodation Facilities), Phase 3 (Transition Criteria, Planned Hospital Beds, Severe Patients, Accommodation Facilities), Phase 4 (Transition Criteria, Planned Hospital Beds, Severe Patients, Accommodation Facilities), Phase 5 (Transition Criteria, Planned Hospital Beds, Severe Patients, Accommodation Facilities).

都道府県名	推計の概要						フェーズ1			フェーズ2			フェーズ3			フェーズ4			フェーズ5						
	(1)モデル(A又はB)	(2)実効再生産数	(3)要請のタイミング	推計最大新規感染者数	推計最大重症者数(入院・宿泊療養)	推計最大入院患者数	うち重症者数	即応病床(計画)数	うち重症者向け	宿泊療養施設居室(計画)数	移行基準	即応病床(計画)数	うち重症者向け	宿泊療養施設居室(計画)数	移行基準	即応病床(計画)数	うち重症者向け	宿泊療養施設居室(計画)数	移行基準	即応病床(計画)数	うち重症者向け	宿泊療養施設居室(計画)数			
26 京都府	A	1.7	2	52	671	337	49	246	61	338	新規感染者数7日間平均5人となった日				新規感染者数7日間平均2.0人となった日	750	86	338	第1波の検証結果を踏まえ、居室数を設定	—	—	—	—		
27 大阪府	A	1.7	1	159	2,088	1,009	146	380	30	400	(病床確保計画) 【重症】新規の重症患者数が直近1週間において5人以上【軽症中等症】新規の軽症中等症患者が直近1週間において60人以上 (宿泊療養施設確保計画) 施設稼働率40%と感染拡大状況から判断				(病床確保計画) 病床利用率40%と感染拡大状況から判断 (宿泊療養施設確保計画) 施設稼働率70%と感染拡大状況から判断	1,150	150	1,015	(病床確保計画) 病床利用率70%と感染拡大状況から判断	1,615	215	—	—		
28 兵庫県	A	1.7	1	98	1,294	642	93	200	40	200	週平均新規陽性患者数10人以上	300	50	200	週平均新規陽性患者数20人以上	400	70	300	週平均新規陽性患者数30人以上	500	90	500	週平均新規陽性患者数40人以上		
29 奈良県	(独自想定)	(独自想定)	(独自想定)	35	500	500	25	200	12	108	フェーズ1の確保病床の入院患者受入が50%を超える日	316	18	108	フェーズ2の確保病床の入院患者受入が50%を超える日	500	25床以上	108	—	—	—	—	—		
30 和歌山県	B	1.7	5	29	373	373	38	120	8	—	基準日(2.5人/10万人)	190	12	—	基準日の1週間後	400	40	—	大規模なクラスターの発生など、見込みを上回る場合	400	40	137	—		
31 鳥取県	B	2	4	31	393	276	40	100	12	50	入院患者数がフェーズ1の即応病床数の4割に達する日	200	30	100	入院患者数がフェーズ2の即応病床数の4割に達する日	300	40	150	—	—	—	—	—		
32 島根県	B	1.7	3	16	208	147	21	100	5	—	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	105	10	98	入院患者総数が50人となった日	150	20	98	入院患者総数が100人となった日	200	25	98	入院患者総数が100人を超えフェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日		
33 岡山県	A	1.7	1	34	430	250	37	100	20	180	直近1週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	150	40	180	稼働病床が100床を超えたとき	200	40	180	稼働病床が200床を超えたとき	250	40	180	—		
34 広島県	A	1.7	3	64	829	486	70	240	30	450	空床率が50%以下となった日	320	40	500	空床率が50%以下となった日	500	70	700	—	—	—	—	—		
35 山口県	B	1.7	3	33	421	298	44	102	93	—	入院患者数30人以上	168	102	—	入院患者数100人以上	302	102	120	入院療養者数200人以上	423	102	834	—		
36 徳島県	B	1.7	3	18	227	159	23	37	5	150	週当たり累積新規感染者数10人	49	5	150	週当たり累積新規感染者数30人	130	17	150	週当たり累積新規感染者数100人	200	25	150	—		
37 香川県	B	1.7	1	17	227	154	22	55	8	101	入院患者数が、フェーズ1の即応病床数の1/3を超える場合	100	14	101	入院患者数が、フェーズ2の即応病床数の1/2を超える場合	185	25	101	—	—	—	—	—		
38 愛媛県	B	1.7	1	25	322	222	33	145	5	67	週当たり新規感染者数が28人(2.0人/10万人)となった日	190	10	67	週当たり新規感染者数が70人(5.0人/10万人)となった日	223	33	117	—	—	—	—	—		
39 高知県	B	1.7	3	17	219	156	22	80	20	—	療養中患者14人以上	130	50	35	療養中患者70人以上	150	50	35	療養中患者150人以上	200	57	190	—		
40 福岡県	A	1.7	3	116	1,509	750	108	200	60	450	入院患者数がフェーズ1で確保している即応病床数の半分に達した段階で、感染状況を踏まえて総合的に判断	490	60	800	入院患者数がフェーズ2で確保している即応病床数の半分に達した段階で、感染状況を踏まえて総合的に判断	760	110	1,200	—	—	—	—	—		
41 佐賀県	B	1.7	3	18	243	166	24	143	10	253	入院患者数が20人となった日	164	14	253	入院患者数が40人となった日	219	32	253	入院患者数が80人となった日	274	46	253	—		
42 長崎県	B	1.7	3	32	409	286	42	65	6	550	即応病床の3分の1以上使用	100	6	550	週当たり新規感染者数2.5人/10万人となった日	~395 ※感染状況を踏まえ、順次、病床拡大	~42	550	入院患者数が推計上の最大(286人)となる日	395	42	550	—		
43 熊本県	B	1.7	1	32	409	278	40	130	20	0	全療養者数が71名	260	40	65	全療養者数が170名	400	59	140	—	—	—	—	—		
44 大分県	B	1.7	3	27	348	243	36	66	10	170	(病床確保計画) 入院患者数が9人以上となった日 (宿泊療養施設確保計画) 週当たり新規感染者数2.5人/10万人となった日	120	17	170	(病床確保計画) 週当たり新規感染者数2.5人/10万人となった日	200	26	—	(病床確保計画) 入院患者数が70人以上となった日	330	41	—	—		
45 宮崎県	B	1.7	3	25	329	230	33	161	21	50	週当たり新規感染者数が28人となった日	220	33	150	入院患者が110人に達したとき	246	33	250	—	—	—	—	—		
46 鹿児島県	B	1.7	1	29	380	261	37	45	7	—	本県における1日あたりの入院患者数が3人に達した場合	100	16	—	本県における1日あたりの入院患者数が22人に達した場合	200	24	370	重篤・重症の入院患者数が、9人に達した場合、又は1日あたりの療養者総数が1000人に達した場合	300	48	370	—		
47 沖縄県	A	1.7	3	33	425	425	37	79	9	80	入院患者が10人を超えたとき	147	20	140	入院患者が23人を超えたとき	241	32	250	入院患者が150人を超えたとき	260	32	340	入院患者が200人を超えたとき		
全国計(※1)				2,788	36,556	20,937	2,928																27,580	3,640	21,772

(※1) 「即応病床(計画)数」、「うち重症者向け即応病床(計画)数」、「宿泊療養施設(計画)数」の全国計については、各自治体の最終フェーズにおける数を合計している。
(※2) 埼玉県、岐阜県、京都府、徳島県、福岡県及び長崎県の計画について変更(9月4日更新)。新潟県及び山口県の計画について更新(9月11日更新)。宮城県及び佐賀県の計画について更新(9月18日更新)。佐賀県、栃木県の計画について更新(10月2日更新)。宮崎県の計画について更新(10月9日更新)。

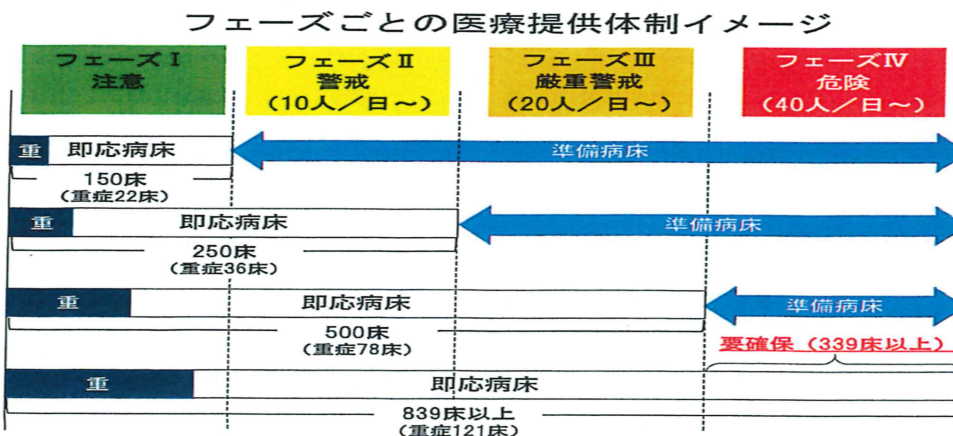
☆「愛知県」の病床・宿泊療養施設確保計画の内容

【表1 患者推計で用いたモデル等】

推計モデル ※(A)「生産年齢人口群中心モデル」又は(B)「高齢者群中心モデル」	社会への協力要請前の実効再生産数 ※ 1.7又は2.0	社会への協力要請のタイミング ※ 基準日(人口10万人当たりの週平均新規感染者数(報告数)が2.5人となった日)から1日～7日後	推計最大新規感染者数	推計最大療養者数(患者総数) ※ 入院又は宿泊療養を行う者の総数
(A)「生産年齢人口群中心モデル」	1.7	1	136	1,778

(A)「生産年齢人口群中心モデル」
大都市圏の平均的な人口規模・人口分布において、若年層中心の感染拡大を典型とするモデル
(B)「高齢者群中心モデル」
都市部が都道府県庁所在地のみであるなど、それ以外の地域では人口規模が小さく、また高齢者層が多い都道府県における感染拡大を典型とするモデル

本県の患者推計は、大都市圏の平均的な人口規模・人口分布において若年層中心の感染を典型とするモデルである「生産年齢人口群中心モデル」を選択し、実効再生産数は国が基本とするよう指示した1.7、社会への協力要請は、国が示す基準日(愛知県の場合、週平均新規感染者数が28人/日に達した日)から1日後を選択することで得られる患者数とした。



【表2 病床確保計画】

計画作成時点(7月10日)	フェーズ移行のタイミング	即応病床(計画)数	うち重症患者用の即応病床(計画)数
フェーズ1の即応病床(計画)数	—	150 (46)	22 (7)
フェーズ2の即応病床(計画)数	週当たり新規感染者数10人/日	250 (88)	36 (12)
フェーズ3の即応病床(計画)数	週当たり新規感染者数20人/日	500 (177)	78 (26)
フェーズ4の即応病床(計画)数	週当たり新規感染者数40人/日以上	839 (939)	121 (121)

※ () は、推計による入院患者数

【表3 宿泊療養施設の確保計画】

計画作成時点(7月10日)	フェーズ移行のタイミング	居室数
フェーズ1の宿泊療養施設居室(計画)数	—	63 (64)
フェーズ2の宿泊療養施設居室(計画)数	週当たり新規感染者数10人/日	206 (116)
フェーズ3の宿泊療養施設居室(計画)数	週当たり新規感染者数20人/日	1,011 (231)
フェーズ4の宿泊療養施設居室(計画)数	週当たり新規感染者数40人/日以上	1,300 (939)

※ () は、推計による入所患者数